

平成21年度大津市事務事業評価（二次評価）事業仕分け結果

班 別	第1班	時 間	15:10~16:00
事業番号	7	所管部課名	教育委員会 科学館
事業名	科学館事業		
事業仕分け結果	(4) 市実施 内容・規模見直し		
内 訳	(1) 不要	—	
	(2) 国及び県実施	—	
	(3) 市実施 現行通り	—	
	(4) 市実施 内容・規模見直し	3名	
	(5) 市実施 民間委託	2名	
	(6) 民営化(NPO、地域団体含む)	—	
<p>【事業仕分け判定に係る意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あるべき論としては必要。教育委員会の枠を取っ払うことで様々な人の知恵も集まり、より開放的な施設になる。膳所公園に近い土地柄を生かして、自然と触れ合えるようになればより楽しい科学館になると思う。稼ぐことに対して、もっと貪欲に検討されたい。 ・設備や技術が最先端でないと科学館とはいえない。民間のノウハウを活用して欲しい。 ・大人目線に耐えられるものを目指して欲しい。入場料100円を言い訳にするのではなく、どうすれば2,000円貰えるかを目指し、それを500円で見せるという大胆な発想が必要である。 ・子供騙しでは子どもは喜ばない。本物であれば大人も喜ぶ。 ・先端企業とのタイアップやネーミングライツ等もある。プラネタリウムを作るなら市民から資金を募るなど方法がある。教育委員会は固いのもっと柔軟に考えるべき。 ・大学との関連でいえば、次の学生を作りたい。興味を持って貰えるなら大学はいくらでも動く。教育委員会だけが頑張るのではなく、地域の資源として開かれた運営をお願いする。 			

事業仕分け発言要旨	
コーディネーター・評価者	事業説明者・補助者
	・事業概要説明（省略）
<p>(コーディネーター)</p> <p>・魅力的な展示には、どの程度費用がかかるか。</p>	<p>・プラネタリウムなら1億数千万円(座席の張替含む)。</p> <p>展示については、運営委員会で今後検討していくため、費用についてはまだ把握していない。</p>
<p>(コーディネーター)</p> <p>・平成4年に開館して、大津市から科学者を輩出している等の成果を把握しているか。</p>	<p>・その把握は難しい。子どもが見て触れる科学館であり、興味を持っている子どもの姿はいつも見かけている。興味を持って貰っているのは確実である。</p>

<p>・学校教育との連携はどうなっている。大津として科学教育に力を入れているのか。</p>	<p>・大津市として理科教育に力を入れている。市内小学校からの移動教室として利用されている。</p>
<p>・正規職員を減員しているが、どういう内容か。</p>	<p>・学芸員を減らしているのではなく、正規職員を臨時・嘱託化して人件費を抑制している。</p>
<p>・来館者の内訳はどのようになっているのか。</p>	<p>・展示ホールの有料入場者は 21,000 名、無料（移動教室・高齢者）では 12,000 名。プラネタリウムは有料入場者は 16,000 名。無料で 14,000 名。合わせて 63,000 名という内訳である。</p>
<p>・他市からの来館者については有料化するとか、他の施設と連携して一貫した教育とする等の検討の上、他市に科学館事業の働きかけをしているか。</p>	<p>・運営委員会のメンバーに琵琶湖博物館学芸員もいる。他市からも校外学習として、琵琶湖博物館等を経由し科学館見学を実施している所もある。</p>
<p>・実績としての回数は減っているが、入場者は増えている。この分析はしているか。</p>	<p>・プラネタリウムの番組の投影内容により入場者が多くなっている、と把握している。</p>
<p>（コーディネーター）</p> <p>・費用のバランスが悪いのが気になる。主な事業費は今後も同様にかかるのか。</p>	<p>・今後も同じ内容の事業をするならこの程度かかる。</p>
<p>（コーディネーター）</p> <p>・展示ホールの 100 円は安い上に無料の比率が高い。これだけの事業費がかかり、いつか大規模改修が必要となる事業構造である。</p>	<p>・科学館の更新計画については、今後、科学館運営委員会で検討していく予定である。</p>
<p>・もし、科学館がなければ理科教育はできないか。</p>	<p>・直接、体を通して、科学と直に触れ合うことが有効だと考えている。直に見て、触れて、感じることでできる体験の場として提供する場が科学館である。</p>
<p>（コーディネーター）</p> <p>・科学館は同じ展示であり、毎年同じものを見るのであれば、本当に有効であるのか。</p>	<p>・生き生きと触って楽しんでいる子どももあり、無駄ではない。ただ、設備の経年劣化もあり陳腐化しているので時代に沿った最新の展示にすることを検討している。</p>
<p>・大津市の規模で科学館を作ったのは敬意を評したいが、生涯学習センターの中にあるのは、趣旨から外れている。改修はコストがかかるが、旭山動物園はコストをかけずにあれだけの集客をした。運営面における展示の有り様を、いかに子どもの感動が生むかの視点で明確に主張して欲しい。プラネタリウムが必要なら、市民ファンドを設置するなどもあるし、滋賀県全体の取り組みとして告知する等も必要。大津市在住 65 歳以上の人が無</p>	<p>—</p>

<p>料とあるが、不要である。子どもが夢を持つ良い施設なので、子どもだけで来た時に歓迎する姿勢を持つべき。</p>	
<p>・経年変化が問題だが、子どもには先端科学を教えるべき。行政がこういうものを常にリニューアルすることが可能なか。民間でも力を入れているところもあるのでNPO等との連携も視野にいれるべき。</p>	<p>・民間でできることは民間に任せるべきかもしれないが、教育そのものなので委託になじまないと考えている。反面、地域の方のボランティアや学生の協力を得て実施している内容もある。</p>
<p>・民間で教育に関わりたい人材に機会を与えるべき。</p>	<p>—</p>
<p>・教師でしかできないことはない、やり方次第では。</p>	<p>—</p>
<p>・企業の技術を広告のようにして展示に含める方法や、大学の研究を入れる方法もある。子供騙しでなく大人が楽しめるものでないと、リピーターを作れないのではないか。</p>	<p>・子ども主体であるが、大人も楽しめるものを目指している。滋賀大とのコラボレーションで、科学クラブを使って環境調査等の取り組みも行っている。また、運営委員会にも参加いただいている。</p>
<p>・明確な方針を持って指定管理者制への移行は可能。利用料金の見直しを検討する中で、子ども主体であるなら高齢者無料はそぐわないのでは。</p>	<p>・現時点では料金体系については考えていない。指定管理者となれば教育の一連性が疑わしく、3年毎の更新があり、継続性に問題がある。</p>
<p>(コーディネーター)</p> <p>・役所の担当も3年で代わるので継続性は関係ない。この事業仕分けで最大のコストパフォーマンスの悪さ。教員のための科学館としか思えない。本当に収入増を目指すのなら、大人が見たいものにすべき。ターゲットを柔軟に考え、利用料金も見直すべき。グッズを販売するか商売上手になるべき。教育の視点を明確にした上で、民間の力を大いに利用すべき。みんなの科学館ならば、みんなで支えるような構造にすべき。</p>	<p>—</p>
<p>・毎年1回は子どもと科学館に行っている。子どもは「生涯学習センターに行く」と言い、科学館という認識がない。展示は新しいものを見ると触りたいが、同じものは触りたがらない。科学館に行く機会は小学校で1回なら、これで科学に触れていると言えるのか。家族で科学館に行くのはプラネタリウムと実験イベント。また、展示がいつも同じなのは良くないから、民間の展示のために開放しても良い。また、100円なら大したものはないという意識もある。</p>	<p>—</p>